

科目名称	文章表現の基礎 I				ビジネス・キャリア (必)	オフィス情報 (必)
英文科目名称	Basics of Japanese Academic Writing I				グローバル・コミュニケーション (必)	医療事務・医療秘書 (必)
科目コード	590127	授業形態	演習	単位数		
教員氏名	田中 利砂子		年次配当	1年次	前期	ホテル・観光 (必) 大学編入 (必)
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無	
授業概要 及び授業方法	<p>文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで、文章表現の基礎 I では、身近な素材を比較・検討しながら、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。さらに、社会人になるためには、「社会人基礎力」(「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」)の習得も不可欠である。そこで、毎回の授業をグループワーク形式で進め、グループ内で意見を交換する過程を繰り返すことにより、主体性、深く考える力、チームで協力する姿勢も養成する。</p>					
関連する科目	文章表現の基礎 II				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1課 インTRODクシヨン 2. 2課 表現の基礎 (1) - 表現と言葉づかい - 3. 3課 情報を整理して示す-メモやメニュー- 4. 4課 情報を確実に伝える-注意書き- 5. 5課 情報を正確に伝える-連絡・案内のメールなど- 6. ステージ1 まとめ 7. 6課 表現の基礎 (2) - 読みやすい文を書く - 8. 7課 相手に合わせて表現する-敬語- 9. 8課 (前半) 配慮して伝える-行動を促す文章①- 10. 8課 (後半) 配慮して伝える-行動を促す文章②- 11. 9課 丁寧に伝える-手紙の書き方- 12. 10課 表現の基礎 (3) - わかりやすい文章を書く - 13. 11課 アカデミックな文章を書く 14. 12課 企画をアピールする 15. 13課 自分を表現する-自己PR基礎編- 					
授業時間外の 学 習	<p>【予習】「使用教材」の該当課を事前に読んで予習しておくこと。(2時間程度) 【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。課題は確実に遂行すること。(2時間程度)</p>					
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> ① 客観的な文章が書けるようになる。 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく。 ③ 論理的に思考することができる。 					
課題に対する フィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。				評価方法・基準	積極的な授業態度10点 課題20点 ポートフォリオ30点 最終課題40点
テ キ ス ト	野田春美ほか (2016) 『グループワークで日本語表現力アップ』ひつじ書房					
参 考 書	野田尚史 (2005) 『<もっと知りたい!日本語> なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店 石黒圭 (2012) 『この1冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本』日本実業出版社					
備 考	特になし。					